

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimou@geppou.asj.or.jp 宛、なお、原稿も必ず 0422-31-5487迄 Fax でお送り下さい。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

東京大学大学院理学系研究科  
天文学教育研究センター教官公募

1. 助教授 1名
2. (1) 東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター  
(2) 東京都三鷹市大沢 2-21-1
3. 観測天文学
4. 当センターは、電波天文学、銀河天文学、恒星物理学の3部門および木曾観測所で構成されています。これらの研究部門と連携をとりつつ研究を進められる方を求めます。また天文学専攻の専任教官として大学院での指導・教育にも携わっていただきます。
5. 採用決定後出来るだけ早い時期
6. 博士の学位あるいはそれと同等の研究歴をもつ方
7. (1) 履歴書 (写真添付), (2) これまでの研究概要, (3) 業績リスト, (4) 主要論文別刷 (3編以内), (5) 着任後の研究計画と抱負, (6) 本人について意見を述べられる人2名 (国内外を問わない) の氏名と連絡先
8. 平成13年8月31日 (金) 必着

9. (1)&(2)  
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター センター長 吉井 謙  
Tel: 0422-34-5027 Fax: 0422-34-5041  
E-mail: yoshii@mtk.ioa.s.u-tokyo.ac.jp
10. 封筒に「助教授応募書類」と朱書きし、直接持参するか、簡易書留で郵送。LaTeX File で E-mail による応募も可。

東京大学大学院理学系研究科  
天文学専攻教官

当専攻では、任期3年 (延長不可) の助手を採用することになりました。任期付きポストであることを御理解の上、相応しい方の御推薦をお願い致します。募集受け付けは他薦のみと致します。推薦者より、必要書類をお送りください。

1. 助手1名
2. (1) 天文学宇宙学大講座  
(2) 東京都文京区本郷 7-3-1
3. 天文学
4. 天文学専攻には現在、銀河天文・観測的宇宙論、超新星爆発・宇宙化学進化論、太陽恒星物理・日震学、赤外線天文学、太陽物理学、恒星系力学等の研究グループがあります。これらのグループと連携を取りつつ、研究を進められる方を求めます。
5. (1) 平成13年10月1日予定  
(2) 3年
6. 今回の応募は、他薦に限ります。被推薦者の資格は、博士号取得者またはそれと同等以上の業績を有する方とします。
7. (1) 推薦書, (2) 履歴書, (3) これまでの研究概要, (4) 業績リスト
8. 平成13年8月31日必着
9. (1), (2) 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
東京大学大学院理学系研究科天文学専攻専攻長 柴橋博資  
Tel: 03-5841-4256 Fax: 03-5841-7644  
E-mail: shibahashi@astron.s.u-tokyo.ac.jp
10. 封筒に「助手推薦書類在中」と朱記の上、持参もしくは書留で郵送下さい。
11. 任期の延長は出来ませんが、期間満了前に退職・転出することを妨げるものではありません。

## 独立行政法人通信総合研究所研究職員公募

公募人数：10名程度

研究領域：①通信ネットワーク，②（情報通信）ヒューマンコミュニケーション技術，③無線通信システム・電磁環境，④宇宙通信システム・衛星測位，⑤地球環境計測，⑥宇宙天気予報，⑦標準周波数・標準時・高精度時空計測，⑧光情報通信，⑨情報通信のための材料・デバイス，⑩生物情報

採用方針：新卒，中途，年齢，国籍不問

採用区分：①選考採用（採用時に博士学位を有する等の条件を満たすことが必要。36歳未満は，原則として3年間の任期付き）②試験採用（国家I種合格者，任期なし）

採用時期：原則として2002年4月1日

応募締切：2001年8月31日（随時受付）

問合せ先：〒184-8795 通信総合研究所総務室  
馬淵

Tel: 042-327-7625

e-mail: mabuchi@crl.go.jp

その他：応募資格，提出書類等の詳細な情報は  
<http://www.crl.go.jp/>をご覧ください。

## 国立天文台

### ハワイ観測所助教授

1. 助教授1名

2. (1) ハワイ観測所

(2) 米国ハワイ州ハワイ島ヒロ市

3. 光学赤外線天文学及び関連分野

すばる望遠鏡による共同利用観測事業を積極的に推進するとともに，若手研究者や大学院生を指導して，すばる望遠鏡を用いた観測的研究や開発研究を中核となって進める助教授を求めます。

5. (1) 決定後なるべく早い時期

6. 大学院博士課程修了，またはそれと同等以上の方

7. (1) 略歴書，(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要を含む），(3) 研究論文リスト（査読論文とそれを区別し，共著の主要論文には役割分担を記すこと）及び主要論文別刷，(4) 研究計画書，(5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先，(6) 他薦の場合には推薦書の他に，前記事項(1)～(4)の概要がわかる書類

8. 締切：平成13年8月31日(金) 必着

9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台長 海部宣男

(2) 650North A'Ohoku Place, Hilo, HI 96720,  
U.S.A.

ハワイ観測所 所長 安藤裕康

Tel: 1-808-934-5910

10. 封筒の表に「ハワイ助教授人事応募書類在中」と朱記し，郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行ない，外国籍の人の場合は法令に基づき任期を定める場合があります。

## 国立天文台

### 地球回転研究系助教授

1. 助教授1名

2. (1) 地球回転研究系，(2) 岩手県水沢市

3. 地球・惑星科学分野

4. 現在，地球回転研究系では重力，潮汐，地形など測地学的手法による月・惑星の研究を行うと共に，将来のスペース（月面を含む）での天文観測を視野に入れた将来構想の検討も進めています。今後の月周回衛星を用いた測月学ミッションの装置開発及び取得データを用いた月内部構造の研究等，この方面の研究に主導的な役割を果たすと共に，将来のスペース天文学への展開に意欲的に取り組む助教授を求めます。

5. 決定後なるべく早い時期

6. 大学院博士課程終了，又はそれと同等以上。

7. (1) 略歴書，(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要を含む），(3) 研究論文リスト（査読論文とそれを区別し，共著の主要論文には役割分担を記すこと）および主要論文別刷り，(4) 研究計画書，(5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先，(6) 他薦の場合は推薦書の他に，前記事項(1)～(5)の概要がわかる書類。

8. 平成13年8月31日(金)必着

9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台長 海部宣男

(2) 〒023-0861 岩手県水沢市星ガ丘町2-12

地球回転研究系主幹 河野宣之

Tel.: 0197-22-7122 Fax.: 0197-25-6619

E-mail: kawano@miz.nao.ac.jp

10. 封筒に「地球回転研究系助教授応募書類在中」と朱記し，郵送の場合は簡易書留でお送りください。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。

## 国立天文台 理論天文学研究系助手

1. 助手1名
2. (1) 理論天文学研究系, (2) 東京都三鷹市
3. 理論天文学
4. 共同利用研究所の教官として, 全国の理論研究者との連携を保ちつつ, 観測天文学をも視野に入れて, 理論天文学を推進する若手研究者を求めます.
5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了, またはそれと同等以上
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し共著の主要論文には役割分担を記すこと) および主要論文別刷 (5編以内), (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他に, (1) ~ (5) の概要が分かる書類
8. 平成13年8月31日(金)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台長 海部宣男  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
理論天文学研究系主幹 富阪幸治
10. 封筒に「理論助手応募書類在中」と朱記し, 郵送の場合は簡易書留でお送りください. 選考は国立天文台運営協議会にて行います.

## 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

## 国立天文台電波天文学研究系教授

1. 第94巻2号
2. 柴崎清登 (国立天文台電波天文学研究系)
3. 2001年7月1日

## 東京大学大学院理学系研究科 天文学専攻教官 (助手)

1. 第94巻1号
2. 高田将郎 (ケンブリッジ大学研究員)
3. 2001年8月16日予定

## 東京大学理学系研究科 天文学教育研究センター教官 (助教授)

1. 第94巻2号
2. 河野孝太郎 (国立天文台助手)
3. 2001年7月16日

## 宇宙科学研究所助手 宇宙圏研究系 高エネルギー天体物理学 第1部門, 第2部門

1. 第94巻3号
2. 第1部門 前田良知 (日本学術振興会特別研究員  
Pennsylvania State University)  
第2部門 中澤知洋 (日本学術振興会特別研究員  
宇宙科学研究所)
3. 2001年7月1日

## 研究助成

### 日本証券奨学財団 平成13年度研究調査助成募集

標記助成金の募集要項が, 学会宛に届いております. 対象者は, 大学に於いて学術文化の研究調査に従事している個人又はグループで, 研究者は55歳以下ですが, グループ代表者は55歳を越えてもよい.

理学・工学については, 新素材及び環境改善に関する萌芽的研究.

◎助成金総額: 4,000万円

1件につき100万円程度で, 多額の経費を必要とする特別研究調査は, 300万円以内.

◎申請の手続: 助成金の申請は, 本財団所定の申請書

(天文学会にあります)に所属機関の長及び専門の学者の推薦書を添え、平成13年8月17日(金)までに本財団までに提出する。なお、申請は1大学当たり1部門につき2件以内とする。

照会及び提出先:

〒103-0025 中央区日本橋茅場町1-5-8  
東京証券会館6F  
(財)日本証券奨学財団  
Tel: 03-3664-7113

## 研究会・集案案内

### 独立行政法人通信総合研究所 平磯太陽観測センター一般公開

平磯太陽観測センターでは、将来、宇宙天気予報を実現すべく、太陽フレア(太陽面爆発)等の様々な太陽活動現象の発生機構の解明及びその監視・予知技術の確立をめざした研究及び開発を行なっています。当日は、太陽の光学/電波観測装置や太陽地球環境情報サービスなどを公開する予定です。

日時: 8月4日(土)10時~16時

場所: 〒311-1202 茨城県ひたちなか市磯崎3601  
平磯太陽観測センター(駐車場有り)

交通: 北関東自動車道ひたちなかICより車で5分  
常磐自動車道那珂ICより車で30分  
JR常磐線勝田駅よりタクシーで20分  
茨城交通湊線磯崎駅より徒歩20分

お問い合わせ

Tel: 029-265-7121(代表)  
URL <http://sunbase.crl.go.jp>  
E-mail [rwc@crl.go.jp](mailto:rwc@crl.go.jp)

### 第10回公開セミナー「天文学の最前線」

#### 10周年特別記念講演会

「21世紀の宇宙像を求めて」

通常セミナー「名古屋から宇宙へ」

天文学研究の最先端の話題を集め、一般の方々にわかりやすく伝えるために毎年夏に名古屋大学と名古屋市科学館でおこなってきた公開セミナー「天文学の最前線」も今年で10周年を迎えます。

今年も例年どおり8月22日から24日まで、3日間

の日程で行いますが、10周年記念として、初日に特別記念講演会「21世紀の宇宙像を求めて」を開催します。

また2日目、3日目のセミナーでは、名古屋大学の天文学研究グループの将来計画のご紹介や、地元の教育関係者の天文学や理科教育への取り組みに関する講演をもとに、21世紀の宇宙像を求めて、地元愛知・名古屋から世界に発信する天文学研究およびその基礎を担う天文・科学教育について、市民の皆さんといっしょに考えたいと思います。

特別講演会への参加も受け付けます。ぜひ一人でも多くの方にご参加いただき、この機会に宇宙に興味を持っていただきたいと思います。

主催: 名古屋大学大学院理学研究科・名古屋市科学館  
開催日時: 特別講演会 平成13年8月22日(水)

14時~18時(予定)

通常セミナー

23日(木)~24日(金)

9時~17時(予定)

(セミナーは特別講演会も含めて3日間継続)

会場: 特別講演会 名古屋大学豊田講堂(8/22)

通常セミナー

名古屋市科学館サイエンスホール(8/23)

名古屋大学シンポジオン(8/24)

対象: 高校生以上

定員: 特別講演会 1,500名(申込制)

通常セミナー 300名(申込制)

受講料: 無料(ただしセミナーの資料代は実費)

申込方法: 官製はがきに

1. 「特別講演会」のみか「通常セミナー」の参加希望の有無、2. 住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入の上、下記まで申し込む。(多数の場合は抽選)

申込締切: 8月8日(水)必着

申込先: 名古屋市科学館「公開セミナー」係

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号

内容についての問合せ先:

名古屋大学大学院理学研究科

素粒子宇宙物理学専攻A研「公開セミナー」係

Tel: 052-789-2839

(担当) 水野 亮

## OPTICS JAPAN 2001

(日本光学会設立 50 周年記念大会)

日本光学会の年次学術講演会が以下の日程で行われます。今回は、日本光学会設立 50 周年記念大会ですので、是非とも奮ってご参加ください。

日 時：2001 年 11 月 5 日(月)～11 月 7 日(水)

9：00～18：30

場 所：早稲田大学 国際会議場

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-20-14

主 催：日本光学会 (応用物理学会)

参加費：主催・協賛学協会員：4,000 円 (事前払)

予稿集代：3,000 円 (事前払)

プログラム：

日本光学会設立 50 周年記念講演 7 件

特別講演 (スペシャルセッション) 4 件

公募型シンポジウムテーマ

1. デジタル技術と光学, 2. 光学技術におけるソフトウェア, 3. 適応的光波制御技術の最前線, 4. 色覚と分光画像処理, 5. 光情報処理・通信のための光波シンセシス, 6. 立体映像メディアの最前線
- その他、一般講演およびポスターセッションを行います。

★参加申込方法の詳細は OJ 2001 のホームページをご覧ください。

問い合わせ先：東京工芸大学 工学部内 (中橋)

電子メール：oj2k1inf@t-kougei.ac.jp

ホームページ：http://oj2k1.t-kougei.ac.jp/

## 第 51 回科学講演会

主催：財団法人 東レ科学振興会

後援：日本天文学会, 他

とき：平成 13 年 9 月 19 日 (水)

開場 17 時 30 分～終演 20 時 40 分

ところ：有楽町朝日ホール

テーマ：宇宙空間科学の新展開

その他：入場無料・予約なし (定員 630 名)

問い合わせ先：財団法人東レ科学振興会

千葉県浦安市美浜一丁目 8 番 1 号

Tel: 047-350-6103

Fax: 047-350-6082

e-mail: JDP00120@nifty.ne.jp

URL: http://www.toray.co.jp/aboutus/tsf/kagaku.html

## その他

## 2001 年度公開天文台ネットワーク (PAONET) 加入受付のお知らせ

国立天文台天文情報公開センター広報普及室  
PAONET 事務局

「公開天文台ネットワーク」(略称, PAONET: パオネット)は、国立天文台が広報普及活動の一環として、各地の公共天文台・プラネタリウム・科学館・教育センター・学校などに対し、電話回線を通じて天文の最新画像や情報などを提供するシステムです。また、PAONET ユーザー同士の情報交換の場としても活用されています。PAONET は 1995 年 11 月から正式に稼動しており、現在約 130 の加入団体が参加されています。

加入資格は：

- ・天文の普及・教育を目的とした非営利団体であること。
- ・所属長の加入承認が必要なこと。
- ・担当者 (施設職員) にコンピュータの知識があること。
- ・担当者 (施設職員として、または施設として) が電子メールアドレスを持っている (電子メールで必ず連絡がとれる) こと。
- ・Windows が動作するパソコン、電話回線、モデムがあること。(インターネットに常時接続していれば尚可)

・最近では PAONET 参加ユーザーの互助により、Macintosh や Linux でも利用する環境が整っています (基本は Windows です)

・インターネットプロバイダーまたは直接接続のインターネットを介して、FTP (等) にて画像等を取ります。

※ PAONET は公開施設および教育機関を対象としたサービスですので営利団体・個人の参加はできません。

加入団体の義務は：

- ・年度末に報告書を提出すること。
- ・運用規則を遵守すること。
- ・担当者は毎年 1 回開催される「PAONET 全体ユーザーズミーティング」に出席すること。新規ユーザーには翌日に「新規ユーザー向けのミーティング」も行います。

※義務を果たされない団体には自動的に退会して頂

くことになります。

募集のメ切は、8月31日(木)の予定で、加入申請を受付けます(8月31日必着)。加入が承認された団体には、9月26日(水)27日(木)に東京・三鷹にて行なわれる予定の、「PAONET全体および新規ユーザー会」に参加して頂きます。ここで各種の説明と資料およびプログラム等の配布を受けます。

資料や参加申込書などの請求、質問は下記宛に郵便、Fax、電子メールにてお願いします(電話でのお問合せは担当者不在が多い為できるだけお避けください)。

国立天文台 天文情報公開センター広報普及室内  
PAONET事務局

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

Tel: 0422-34-3688 (平日, 9:00~18:00・  
一般質問電話兼用)

Fax: 0422-34-3810

e-mail: paomgr@nao.ac.jp

## 会務案内

### 内地留学奨学金応募者の募集について

この奨学金は主として学校の教員、科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の学芸員などアマチュア天文研究者の方々の研究活動・調査活動を支援する制度です。

日本国内の大学や天文台などの研究機関を利用し、その研究者の指導を受けて研究活動を行うことになります。

いままで、多くの方がこの制度を利用して、それぞれ関心をお持ちのテーマで研究をされてきました。奮って、ご応募下さい。

なお、研究をしてみたいがその内容にふさわしい機関や指導者が分からないという場合は、内地留学奨学金選考委員長に相談してください。

過去の奨学金の対象となった研究テーマの例は以下の通りです。

- ・市街地における光害の実態と調査

- ・天文教材開発のための調査研究
- ・19世紀の流星雨に関する文献の調査研究
- ・彗星の分光観測
- ・突発的流星群の起源と出現予報
- ・火球の軌道と物理の研究
- ・接食解析による月緑地形データの整備

### 募集要項

応募資格：日本天文学会員

留学期間：2002年1月から1年間の希望する期間

希望者と受入研究機関、受入研究者と相談の上、夏休みなどの長期休業時に集中させたり、週に1回程度の研究日を設定するなどの方法が考えられます。

支給額：25万円以下で、支給は2002年1月を予定しています。

申し込み：応募申請書に必要事項を記入し、受入研究者が押印の上、「〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会理事長宛」郵送してください。

応募締切：2001年9月22日(土)必着

審査：内地留学選考委員会(内規第5条)で審査の上、決定し、10月下旬に通知します。

応募用紙：日本天文学会事務室にあります(学会事務室に電話をくだされば郵送します)。申請書の書き方の例もありますからご請求ください。

★なお、天文学会の会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります。

ご相談・問い合わせ先：

京都府立洛東高等学校

〒607-8017 京都市山科区安朱川向町10

内地留学奨学金選考委員長 西村昌能

Tel: 075-581-1124 Fax: 075-581-1125

e-mail: mnisimura@kcat.zaq.ne.jp

### 訂正とお詫び

天文月報94巻7号302~307ページの柱は「宇宙年齢を知る(2)」でした。お詫びして訂正いたします。

編集委員 上野宗孝(編集長)、伊藤孝士、上田暁俊、大石奈緒子、太田耕司、

小野智子、斎藤芳隆、土橋一仁、内藤統也、藤田 裕

平成13年7月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務室) / 0422-31-5488 (月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: jimur@geppou.asj.or.jp DTP: 峯尾由紀子